



タイトル「**2024年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT4611		
科目名	危機管理特殊研究 1		
担当教員	吉富 望		
対象学年	3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	水 4		
講義室	2303	単位区分	選必
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 D P 1－E [学識・専門技能] 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 D P 3－H [論理的思考力・批判的思考力] 理路整然とした思考を備えつつ、偏りを排除するための内省をもって、問題・課題を合理的に解決することができる。 D P 4－F [探求力・問題解決力] 問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 D P 6－K [表現力・対話力] 文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 D P 7－L [協働力・牽引力] 集団的に課題解決を行う際に、自己の立場や責任を認識し、互いに集団の連携を強めることができる。 D P 8－M [省察力] 知識と経験とを関連づけ、学修成果を活用可能な状態に高めるとともに、これを新しく複雑な状況に転移させ課題解決につなげることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 E 1 学識と専門知識（25%） H 1 論理的思考（20%） F 1 探求と論拠（20%） F 2 課題解決（10%） K 1 ライティング・コミュニケーション（10%） L 1 チームワーク（5%） M 1 総合的・応用的学修（10%）		
教員の実務経験	■ 経験した実務の内容 陸上自衛隊に32年間勤務し、この間、第一線部隊において部隊運用に関わる実務に約11年間従事しました。また、内閣官房内閣情報調査室、防衛省防衛局、防衛省情報本部、陸上幕僚監部といった中央機関で防衛力整備、部隊運用、戦略情報に関わる実務に約11年間従事しました。加えて、防衛大学校、陸上自衛隊研究本部、陸上自衛隊小平学校などで教育及び研究開発の実務に約10年間従事しました。 ■ 実務経験をどのように活かした授業にするか 本演習では、基本的に教科書を用いて第二次世界大戦後の日本の防衛の変遷に関する学識・専門技能の習得を図りますが、教科書に書かれていない防衛の現場における約30年間の変遷について実務経験に基づいて教育します。このことで、生きた学識・専門技能を習得するとともに、日本の置かれた安全保障・防衛上の状況の変遷を正確に把握し、氾濫する安全保障・防衛関連の情報を適切に理解する力を高めます。【第2～15回】		

成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 3 発展期 ～ 4 定着期	
科目概要・キーワード	危機管理に関する専門的な問題解決のために必要な知識やスキルを身に付けるための指導を行います。学生個人のキャリア形成につながるよう、学生自身が危機管理に関する具体的な業務、資格などに関する専門的な研究を行い、実務教員が中心となり実践的な指導を行います。担当する実務教員が、自らの実務経験に基づいたテーマの科目を設定し、学生が自らのキャリア形成に役立つ科目を選択します。危機管理に関する知識や教養を養うだけでなく、危機管理において必須となるコーディネート、マネジメントに必要な調整能力を身に付けることを目標とします。ここでは、危機管理に関する実務についての知識を修得するための基礎的な指導を行います。授業形態は演習により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 ■キーワード 安全保障、防衛、自衛隊	
授業の趣旨	■副題 国際政治，安全保障，防衛を考える（基礎編） ■授業の目的 国際政治，安全保障および防衛に関する学識に加え，判断力・思考力・表現力，更には主体性・計画性・協働性等の汎用的能力を開発することを目的とします。 ■授業のポイント 国際政治，安全保障および防衛に関する文献を読み込んで基本的な学識を得るとともに，現在の国際情勢にその学識を適用して問題の所在と課題への対処のあり方について自ら説明できる素地を身につけ，その素地を基礎にして危機管理特殊研究2～4へと進みます。	
総合到達目標	■一般総合目標（GIO） 国際政治および日本の安全保障・防衛に関する学識・専門技能を身につけ，論理的思考力を高めるために多様な見方を養う。 ■個別行動目標（SBOs） SBO1 国際政治の見方について意見を述べることができる。（第2～12回） SBO2 日本の安全保障・防衛のあり方について意見を述べることができる。（第13～15回） SBO3 日本の安全保障・防衛に関係する国内外の情勢について説明できる。（第2～15回）	
成績評価方法	■レポート：13回（70%）：適用ルーブリック E1・H1・F1・F2・K1 （評価の観点）教科書の各章について，①要約，②著者の主張，③著者の主張に賛同できる点・その理由，④著者の主張に賛同できない点・その理由，についての的確かつ論理的に答えているかどうかを評価します。 （フィードバックの方法）授業時間内に解説を実施します。 ■授業参加度（発言等）15回（30%）適用ルーブリック F1・F2・L1・M1 （評価の観点）討議に積極的に参加して意見を述べているかを評価します。 （フィードバックの方法）意見に対してコメントを述べます。	
履修条件	■日本の安全保障・防衛について現場の状況を含めて深く学ぶと同時に、理解力、分析力、表現力などを伸ばしたい学生は履修してください。 ■「防衛政策RMGT3557」（3年次前期）の履修が望ましい。	
履修上の注意点	危機管理パーソンとして自国の防衛について適切に説明できる見識を持っていることは不可欠です。日本では学ぶ機会の少ない安全保障・防衛を基礎から学んで、真の危機管理パーソンを目指しましょう。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 ・授業の内容，スケジュール，評価方法，レポートについて確認し，授業に取り組めるようになる。（E1,F1） ・担当教員の実務経験を踏まえて，国際政治の現状，課題等を具体的に提示し，体系的な理解と問題意識を醸成する。 ③予習（120分） シラバスの内容をよく読む。 ④復習（120分） 授業の内容を再確認する。
	2	①授業テーマ 権力闘争の変質

	②授業概要 ・教科書の「序章 問題への視角 I 権力闘争の変質」に関するレポートの発表及び質疑応答を行い、権力闘争の本質について説明できるようになる。(E1,H1,F1,F2,K1) ・(フィードバックの方法) 授業時間内に解説を実施する。 ・担当教員の実務経験を踏まえて、国際政治の現状、課題等を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成する。 ③予習 (120分) 教科書の「序章 問題への視角 I 権力闘争の変質」に関するレポートを作成する。 ④復習 (120分) 講義ノートを確認し、権力闘争の本質について自分なりの説明をまとめる。
3	①授業テーマ 国際政治の三つのレベル ②授業概要 ・教科書の「序章 問題への視角 II 国際政治の三つのレベル」に関するレポートの発表及び質疑応答を行い、国際政治の三つのレベルについて説明できるようになる。(E1,H1,F1,F2,K1) ・(フィードバックの方法) 授業時間内に解説を実施する。 ・担当教員の実務経験を踏まえて、国際政治の現状、課題等を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成する。 ③予習 (120分) 教科書の「序章 問題への視角 II 国際政治の三つのレベル」に関するレポートを作成する。 ④復習 (120分) 講義ノートを確認し、国際政治の三つのレベルについて自分なりの説明をまとめる。
4	①授業テーマ 勢力均衡 ②授業概要 ・教科書の「第1章 軍備と平和 I 勢力均衡」に関するレポートの発表及び質疑応答を行い、勢力均衡について説明できるようになる。(E1,H1,F1,F2,K1) ・(フィードバックの方法) 授業時間内に解説を実施する。 ・担当教員の実務経験を踏まえて、国際政治の現状、課題等を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成する。 ③予習 (120分) 教科書の「第1章 軍備と平和 I 勢力均衡」に関するレポートを作成する。 ④復習 (120分) 講義ノートを確認し、勢力均衡について自分なりの説明をまとめる。
5	①授業テーマ 軍備縮小 ②授業概要 ・教科書の「第1章 軍備と平和 II 軍備縮小」に関するレポートの発表及び質疑応答を行い、軍備縮小について説明できるようになる。(E1,H1,F1,F2,K1) ・(フィードバックの方法) 授業時間内に解説を実施する。 ・担当教員の実務経験を踏まえて、国際政治の現状、課題等を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成する。 ③予習 (120分) 教科書の「第1章 軍備と平和 II 軍備縮小」に関するレポートを作成する。 ④復習 (120分) 講義ノートを確認し、軍備縮小について自分なりの説明をまとめる。
6	①授業テーマ 軍備規制と一方的段階的軍縮 ②授業概要 ・教科書の「序章 問題への視角 III 軍備規制と一方的段階的軍縮」に関するレポートの発表及び質疑応答を行い、軍備規制と一方的段階的軍縮について説明できるようになる。(E1,H1,F1,F2,K1) ・(フィードバックの方法) 授業時間内に解説を実施する。 ・担当教員の実務経験を踏まえて、国際政治の現状、課題等を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成する。 ③予習 (120分) 教科書の「序章 問題への視角 III 軍備規制と一方的段階的軍縮」に関するレポートを作成する。 ④復習 (120分) 講義ノートを確認し、軍備規制と一方的段階的軍縮について自分なりの説明をまとめる。

7	①授業テーマ 経済と権力政治 ②授業概要 ・教科書の「第2章 経済交流と平和 I 経済と権力政治」に関するレポートの発表及び質疑応答を行い、経済と権力政治について説明できるようになる。(E1,H1,F1,F2,K1) ・(フィードバックの方法) 授業時間内に解説を実施する。 ・担当教員の実務経験を踏まえて、国際政治の現状、課題等を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成する。 ③予習 (120分) 教科書の「第2章 経済交流と平和 I 経済と権力政治」に関するレポートを作成する。 ④復習 (120分) 講義ノートを確認し、経済と権力政治について自分なりの説明をまとめる。
8	①授業テーマ 権力政治と経済交流の分離 ②授業概要 ・教科書の「第2章 経済交流と平和 II 権力政治と経済交流の分離」に関するレポートの発表及び質疑応答を行い、権力政治と経済交流の分離について説明できるようになる。(E1,H1,F1,F2,K1) ・(フィードバックの方法) 授業時間内に解説を実施する。 ・担当教員の実務経験を踏まえて、国際政治の現状、課題等を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成する。 ③予習 (120分) 教科書の「第2章 経済交流と平和 II 権力政治と経済交流の分離」に関するレポートを作成する。 ④復習 (120分) 講義ノートを確認し、権力政治と経済交流の分離について自分なりの説明をまとめる。
9	①授業テーマ エゴイズムと相互の利益 ②授業概要 教科書の「第2章 経済交流と平和 III エゴイズムと相互の利益」に関するレポートの発表及び質疑応答を行い、エゴイズムと相互の利益について説明できるようになる。(E1,H1,F1,F2,K1) (フィードバックの方法) 授業時間内に解説を実施する。 担当教員の実務経験を踏まえて、国際政治の現状、課題等を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成する。 ③予習 (120分) 教科書の「第2章 経済交流と平和 III エゴイズムと相互の利益」に関するレポートを作成する。 ④復習 (120分) 講義ノートを確認し、エゴイズムと相互の利益について自分なりの説明をまとめる。
10	①授業テーマ 強制力の問題 ②授業概要 教科書の「第3章 国際機構と平和 I 強制力の問題」に関するレポートの発表及び質疑応答を行い、強制力の問題について説明できるようになる。(E1,H1,F1,F2,K1) (フィードバックの方法) 授業時間内に解説を実施する。 担当教員の実務経験を踏まえて、国際政治の現状、課題等を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成する。 ③予習 (120分) 教科書の「第3章 国際機構と平和 I 強制力の問題」に関するレポートを作成する。 ④復習 (120分) 講義ノートを確認し、強制力の問題について自分なりの説明をまとめる。
11	①授業テーマ 世論の力 ②授業概要 ・教科書の「第3章 国際機構と平和 II 世論の力」に関するレポートの発表及び質疑応答を行い、世論の力について説明できるようになる。(E1,H1,F1,F2,K1) ・(フィードバックの方法) 授業時間内に解説を実施する。 ・担当教員の実務経験を踏まえて、国際政治の現状、課題等を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成する。 ③予習 (120分)

		教科書の「第3章 国際機構と平和 II 世論の力」に関するレポートを作成する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認し、世論の力について自分なりの説明をまとめる。
	12	①授業テーマ 国際連合の意味 ②授業概要 ・教科書の「第3章 国際機構と平和 III 国際連合の意味」に関するレポートの発表及び質疑応答を行い、国際連合の意味について説明できるようになる。 (E1,H1,F1,F2,K1) ・（フィードバックの方法）授業時間内に解説を実施する。 ・担当教員の実務経験を踏まえて、国際政治の現状、課題等を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成する。 ③予習（120分） 教科書の「第3章 国際機構と平和 III 国際連合の意味」に関するレポートを作成する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認し、国際連合の意味について自分なりの説明をまとめる。
	13	①授業テーマ 国際社会と国内体制 ②授業概要 ・教科書の「終章 平和国家と国際秩序 I 国際社会と国内体制」に関するレポートの発表及び質疑応答を行い、国際社会と国内体制について説明できるようになる。 (E1,H1,F1,F2,K1) ・（フィードバックの方法）授業時間内に解説を実施する。 ・担当教員の実務経験を踏まえて、国際政治の現状、課題等を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成する。 ③予習（120分） 教科書の「終章 平和国家と国際秩序 I 国際社会と国内体制」に関するレポートを作成する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認し、国際社会と国内体制について自分なりの説明をまとめる。
	14	①授業テーマ 現実への対処 ②授業概要 ・教科書の「終章 平和国家と国際秩序 II 現実への対処」に関するレポートの発表及び質疑応答を行い、現実への対処について説明できるようになる。(E1,H1,F1,F2,K1) ・（フィードバックの方法）授業時間内に解説を実施する。 ・担当教員の実務経験を踏まえて、国際政治の現状、課題等を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成する。 ③予習（120分） 教科書の「終章 平和国家と国際秩序 II 現実への対処」に関するレポートを作成する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認し、現実への対処について自分なりの説明をまとめる。
	15	①授業テーマ まとめ ②授業概要 ・教科書全体および授業内での討議を振り返って、「危機管理特殊研究1で学んだこと」および「今後の研究の方向性」に関するレポートの発表及び質疑応答を行い、これらについて説明できるようになる。(E1,H1,F1,F2,K1) ・（フィードバックの方法）授業時間内に解説を実施する。 ・担当教員の実務経験を踏まえて総評及びアドバイスを与える。 ③予習（120分） レポートを作成する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認し、「危機管理特殊研究1で学んだこと」および「今後の研究の方向性」について自分なりの説明をまとめる。
関連科目		「危機管理特殊研究2 RMGT4612」、「危機管理特殊研究3 RMGT4513」、「危機管理特殊研究4 RMGT4514」と密接に関係します。
教科書		下記の教科書を使用しますので、購入してください。 ■高坂正堯『国際政治 恐怖と希望』中公新書、2021年1月30日。

参考書・参考URL	■佐藤正久「高校生にも読んでほしい安全保障の授業」ワニブックス、2015年8月25日 ■細谷雄一「安保論争」ちくま新書、2016年7月10日 ■鈴木和之「日本の安全保障法制入門」内外出版、2015年12月23日 ■防衛省「令和5年版防衛白書」日経印刷株式会社、2023年8月31日
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 金曜日昼休み。それ以外の時間については研究室に不在の場合もあるので、事前にメール等でアポイントメントを取ることをお勧めします。
研究比率	■危機管理領域との対応 パブリックセキュリティ5%：グローバルセキュリティ95% ■危機管理学と法学」とのバランス 危機管理学90%：法学10%

